

第2次黒部総合振興計画審議会

第5回第3部会【都市基盤】

議事概要

日時：平成29年10月30日（月）9:30～11:00

場所：黒部市役所 203 会議室

出席者：委員5名（欠席2名）、専門委員1名（欠席1名）

幹事4名（欠席なし）、計画主任6名（欠席1名）、事務局4名

次第

1. 開会
2. 部会長あいさつ
3. 報告事項
 - （1）前回審議会以降の経過について
 - （2）黒部市議会第2次総合振興計画検討特別委員会での意見・提言
 - （3）前期基本計画に関するパブリックコメントの実施結果について
4. 協議事項
 - （1）前期基本計画（案）について
5. その他
6. 閉会

主な発言（検討）内容

○：委員からの質問・意見、●：事務局の意見・回答

部会長あいさつ

○部会長：本日は足元の悪い中、早くから部会に出席いただき感謝する。前回の審議会では答申案および基本計画中間案をとりまとめ、基本構想（案）については9月の議会で答申され、議決された。またその後、パブリックコメントを実施している。今回は最後の部会であり、11月16日の審議会で、最終答申案を確認する予定である。みなさんのご協力をお願いしたい。

報告事項

（資料1：前回審議会以降の経過について、資料2：黒部市議会第2次総合振興計画検討特別委員会での意見・提言について、資料3：前期基本計画に関するパブリックコメントの実施結果について、事務局より説明）

協議事項

(資料4：前期基本計画（案）について、事務局より説明)

(3-1 公共交通対策の推進について)

- 部会長：P83において、パークアンドライドの注釈はあるが、コミュニティバスなどの注釈がないが。
- 事務局：注釈については、最初に出てきたページの下に記載するスタイルとしているため、注釈のない用語については基本構想などで既に出てくるものである。それ以外では、巻末に用語一式を記載する予定としている。
- 部会長：何回も出てくる単語もあると思われるため、できれば巻末の用語集には掲載ページを記載してもらいたい。また、注釈がある用語とない用語が混在しているとやはり戸惑ってしまう。用語は巻末のみとするか、全てを掲載するかのスタイルとした方がよいのではないか。
- 部会長：右の内容の一覧表において、重点事業の掲載があるが、左側の現況と課題では重点事業がどこなのかが分かりにくい。現状・課題の文章中において、重点事業の関連する箇所をゴシックや太文字とすることは考えられないか。
- 事務局：そこまでは考えていない。他の部分も同様の見直しをするととなると大きな手戻りとなる。
- 部会長：事業メニューの中の重点メニューの事業名について、赤字してはどうか。また、注釈のアスタリスクは目立たなくてもよい。例えばP87においては、「道路ストックの長寿命化」が重要であり、道路ストックといった単語はそれほど重要ではない。
- 事務局：事業メニューの事業名も赤く表示すると確かに目立つが、重点ではないものもしっかりとやっつけていかなければならないため、できれば現在のスタイルとしたい。
- 部会長：学術論文では注釈を赤文字とすることはしない。なので注釈のアスタリスクも黒文字とすべき。また、個別事業を赤文字で絞り込めないのか。
- A委員：例えば市道の改良も重要なのではないかと考えている。それらも重点メニューとすべきでは。なぜ「重点事業」として、事業を特筆する必要があったのか。
- 部会長：重点のメリハリは重要である。
- 事務局：重点事業については、基本構想で既に重点メニューが整理されている。
- B委員：重点事業を赤文字にした場合、例えばP87は赤文字だらけになってしまわないか。
- 部会長：そこまで赤文字だらけにはならないのではないか。現状を把握できて良いのではないか。
- C委員：部会長の意見に賛同する。

- D委員：意見は、全体に関連するものであり、大きな修正となる可能性がある。
- 部会長：例えば「空き家対策」は重点事業ではないが、より分かりやすく表現はすべきであると思う。
- D委員：重点事業の内容全てが、現況と課題に上手く結びつけることはできないのではないか。
- 部会長：全体とのバランスも考慮し、検討いただきたい。
- A委員：P87の「市道の改良および舗装の推進」は重点メニューとすることはできないのか。
- 事務局：既に9月議会で承認（議決）されているため、新たに重点メニューとすることは無理がある。また、重点メニューの事業そのものを赤くしてはどうかという意見であるが、実際に冊子にする際には、若干目立つように表現を工夫したい。印刷業者へオーダーする際は、工夫したい。川村委員の言うように、重点化されていなければ実施が遅れるのではないかと意見だが、事業スケジュールも記載しているのでそこで判断してもらいたい。
- 部会長：デザインは業者に任せるとして、文字の大きさはもう少し大きくできないのか。
- 事務局：なるべく配慮する。

(3-2 道路の整備について)

- D委員：P88の「主な市内幹線道路の整備計画」については、県道についてはもう少し吟味しなければならないのではないかと感じる。整備できるのか微妙な路線も含んでいるのではないかと。実施計画ではどのような記載内容となっているのか。
- 事務局：実施計画（公表用）では「県道などの整備促進」といった表現となり、個別の路線名が挙がっている訳ではない。第一次計画でも同様な表記である。
- D委員：基本計画では実施計画よりももう少し粗い表現となるはず。例えば沓掛生地線なども、今年度でひと段落するはず。
- 都市建設部長：同盟会の要望内容とリンクしているが、内容を精査したい。
- D委員：全て削除する案も考えられるのではないかと。
- 部会長：「道路状況」の評価文字が大きく見やすいが、本来は施策の内容が見やすくないといけない。こちらの文字の大きさなどの配慮をいただきたい。

(3-3 市街地・住宅の整備について)

- 部会長：P89では、「空き家等住宅対策」といった文章を入れるべきではないか。
- A委員：空き家は年々増えてきており、空き家対策は喫緊の課題である。誰が空き家を管理するのかといった問題もあり、何等かの記載があっても良いのではないかと。
- 部会長：空き家の文章は2行にわたっても良いので、追記すべきではないか。
- 部会長：空き家率の状況についての記載があってもよいのではないかと。統計データを追加資料にできないのか。
- 計画主任：空き家の定義についてはなかなか難しい。内部の中では、空き家は1,000

件近くあると想定しているが、総合計画には掲載しづらい。ただ文章は追記させていただきたい。

○部会長：文章の順番については、「空き家等対策事業」を前に持ってくることは可能か。

●事務局：可能である。

○部会長：P89の事業前後の写真の違いが分かりにくい。

○A委員：広域だから分かりにくいのではないか。

○部会長：写真がふさわしいのか。また、そもそも画像が必要なのか。

○D委員：道路の整備画像でもよいのではないか。

○部会長：他の箇所はインパクトのある写真を使っている。

●事務局：写真は再検討したい。

(3-4 水道の整備)

○部会長：掲載している画像の解像度が粗い。また子供たちの写真も暗いのではないか。

●事務局：差し替えたい。

●産業経済部長：第一次計画では画像にキャプションが入っている。今回もキャプションを入れたい。

○部会長：キャプションに通し番号を入れないのか。

○部会長：西暦など、年次の表現は統一されているのか。

●事務局：年次の表記は統一している。

○部会長：P92は重点事業が下に来ているが、順序の考え方は。P87も同様。事業がはじまる順番ということか。

●事務局：重点だから上に持ってくるという形はしていない。まず何が必要か、という視点や、第1次計画での掲載内容等で順序を決めている。その後で重点化をしている。施策ごとに、いろいろな考え方がある。

○B委員：重点事業とするならば順序を先にすべきでないか。

○D委員：これまで上水道だけだったのを、簡易水道も追加した理由は。

●計画主任：旧宇奈月町が簡易水道だった。旧黒部市ではほとんどが上水道である。また組合簡易水道など、組合が管理しているところは順次統合を図っていき市の管理としていき、普及率も伸びていく形となっている。

○部会長：市内では72.4%の普及率となっており、図はわずかだが上昇傾向にあるが、まだまだ県内では率が低いという表現とすべきではないか。P92の表で県内平均値を追記してはどうか。

(3-5 下水道の整備について)

○部会長：写真にキャプションが付くと、本文中に対応した図番号を追記することで分かりやすくなるのではないか。

○部会長：現在掲載している写真は何か

●計画主任：下水道にて最終処理されたものである。

(3-6 公園・緑地の整備について)

- 部会長：下の緑地の写真は左半分が影になっているので、差し替え等を行う際に注意してもらいたい。P96 の目標値の中に記載がある「花と緑の銀行」についても用語解説が必要ではないか。
- 計画主任：「花と緑の銀行」については、富山県が全国に先駆けて緑化を推進しましょう、花を愛する心をつくりましょうということで実施している、全国的にも珍しい試みである。注釈には加えたい。
- 部会長：目標値に設定することはできないのか。
- C委員：写真は黒部市内の取り組みなのか。
- 計画主任：若栗小学校での取り組みである。県で学校花壇コンクールを8月に実施しており、それに間に合わせるために7月に黒部市で花のまちづくりコンクールを実施している。
- A委員：富山県の最優秀賞をとった取り組みである。
- 部会長：本文中に、黒部市はイベントを通じて緑化推進をしている、といった内容をもっと記載してはどうか。
- 計画主任：それ以外にも緑化活動を推進している。
- 部会長：同じような内容で違う表現がある、「コンクールなど」としてはどうか。

(全体を通して)

- A委員：P87 の道路の無電中化の推進は、後期では実施しないのか。
- 計画主任：無電中化は、前期で挙がっているものを取り組む予定であり、5か年計画に載っているもの（無電中化促進協議会で挙げられてもの）を掲載している。
- 部会長：P85 の本文では（特に年次の記載はなく）推進するとのことだが事業では後期をやらないということか。
- 計画主任：市が推進を検討していても、管理者の都合もあり、ある程度事業化が目指せるものを前期で実施しようということでこのような表現となっている。決して後ろ向きな訳ではない。
- C委員：P92 のグラフは1%くらいしか上がっていない。本来ならばもっと上がっていかなければならないものであり、グンと上がっているような表現としない方が良いのではないか。1%刻みでない表現とすべきでは。
- 部会長：県の水道普及率は。
- 計画主任：90%を超えている。
- 部会長：ならばグラフに工夫をすべき。
- C委員：P94 のグラフも同様に工夫すべきではないか。

閉会

- 事務局：以上をもって、第5回部会を閉会する。第5回審議会全体会は、11月16日

(木) 午後2時より開催する。

○部会長：みなさんのおかげで深い議論をすることができた。感謝する。

以上